



大好き かたびら

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

横浜市立帷子小学校
学校だよりNo.10 2月号
令和6年1月31日
横浜市保土ヶ谷区
川辺町65-1
TEL045-335-5896

このまちに思うこと

教務主任 黒木 力

今年度、帷子小学校は「豊かな心」育成推進校として、道徳科の授業を中心に研究を進めてきました。全市に向けて公開授業を行い、多数の先生が参加し、共に研究を深めてきました。また、地域・保護者の皆様に向けても授業参観を通して、道徳科の授業を公開してきました。

校内を挙げて取り組んできた道徳科ですが、その内容項目（道徳科で教える内容）の一つに「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」というものがあります。この授業では、自分たちが住む地域の良さについて考えることが多いです。帷子小に赴任して数年。子どもたちの「郷土愛」が伝わってくる場面が多く見られました。

例えば、「皆さんがお世話になっている人にはどんな人がいますか？」と聞くと、真っ先に「地域の方！」、「朝、学校に来るときに立ってくれている方！」と返ってきます。毎朝登校を見守ってくださっている地域のボランティアの皆様、安全パトロール隊の皆様の存在が、子どもたちの中では、それだけ欠かせないものなのだとわかります。さらには、「いつも公園を掃除している人が挨拶をしてくれた。」「怪我をしたときに管理人さんが助けてくれた。」という心温まるエピソードを聞くことができました。

他にも、個別級は地域の団体・ブルーサンタさんと昨年度から関わっており、今年度はまちの清掃活動を行いました。6年生は総合的な学習の時間の取組として、星天 qlay にできたお店と連携し、CM 動画やポスターを作成したり、コラボ商品を考えたりしています。また、まちの魅力を題材にしたカルタやリーフレットの作成もしています。

これらのような子どもたちの姿が見られるのは、地域が子どもたちを温かく見守ってくださっている証拠であると思います。2年生のある道徳科の授業では、「お世話になるだけでなく、感謝の気持ちを伝えたい、行動に表したい。」という意見が挙がりました。地域は子どもたちのため、子どもたちは地域のため。お互いが思い合い、関わり合うとても良いまちだなと実感しています。今後とも、地域と共に子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

帷子小では、毎年公園清掃を行っています。清掃活動に必要な用具を保土ヶ谷区「NPO 法人 元気な地域人の会」よりいただいた助成金で購入させていただきました。改めて、学校を支えてくださっている皆様にお礼申し上げます。

